

三五二二三番

坂越さかこえて 阿倍あへの田面たのもに 居ゐる鶴たづの ともしき君きみ
は 明日あすさへもがも

三五二四番

まを薦こもの 節ふの間まちか近くて 逢あはなへば 沖おきつま鴨かも
の 嘆なげきそ我あがする

三五二五番

水久君野みくくのに 鴨かもの這はほのす 見ころが上うへに 言ことをろ
延はへて いまだ寝ねなふも

三五二六番

沼ぬまふた二つ 通かよは鳥とりが巢す 我あが心こころ 二行ふたゆくなもと
なよ思もはりそね